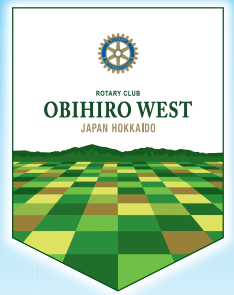




# 帯広西ロータリークラブ 第1972回例会 2012.11.8 会報



### ■RI第2500地区テーマ■

心と心、笑顔と笑顔、今奉仕のために行動を起こそう



### ■クラブ・テーマ■

学ぼうロータリー、訪ねようロータリークラブ

## ゲスト紹介

RI第2500地区ロータリー財団地区補助金委員会  
委員長 奥 周盛様(帯広RC)

## 会長報告



米山奨学生に対する対応について、カウンセラー任せにすることなく当クラブを上げてお世話することが好ましいのではないかと考えます。キャサリンさんには、当クラブ主催で有志のクリスマス会としては如何なものでしょう。

ロータリー財団に関しては、当クラブの特別寄付は現在62万円の状況にあって、去年より少なく市内5RCのうち4番目です。また、普通寄付にあっては市内5RC中で最低という状況なので、米山がすばらしい事業でもあることも再認して頂き、皆様には更なるご検討をして頂きたい。会員の葬儀にあって夫婦で参加して下さった韓国のチェさん、著名な台湾の金さんの夫シュウさんも米山の奨学生でありました。

来年の創立記念例会には、当クラブ縁の諸先輩との交流として会友制度を検討(山本委員長担当)しております。

## 会務報告

- ・帯広各RC例会とリスボンでの世界大会ご案内  
足寄RC50周年と音更20周年御礼

## ニコニコ献金

- 川田章博会員 会長持ち馬のラトウドラゴンが競馬で1着。
- 柴田和明会員 パストガバナーお見舞い御礼無事退院。
- 横山明美会員 今日の担当例会宜しくお祈りします。
- 川上哲平会員 エージシュートなどの広報掲載に感謝。
- 石原英樹会員 結婚祝いありがとうございます。
- 帯広RC -
- 奥 周盛会員 財団の活動にご理解とご協力をお願いします。

## プログラム

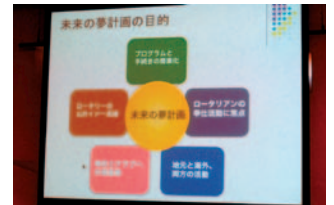
ロータリー財団委員会担当例会

横山委員長

ロータリー財団月間ということで、地区補助金委員会委員長奥周盛様を迎えてロータリー財団未来の夢計画などについてお話し頂きますので、今後の理解と寄付を宜しくお願い致します。



地区補助金委員会 奥委員長



当財団は、未来の夢計画を全世界で実施していきますので、年次寄付と未来夢計画と題してお話させていただきます。

当財団の標語、使命に従った6つの重点分野(優先事項)平和と紛争予防/紛争解決、疫病予防と治療、水と衛生、母子の健康、基本的教育と識字率向上と経済と地域社会の発展を掲げています。

寄付の種類について、年次基金寄付は3年間運用し一般管理費などに用い後にシェアシステムに用い、恒久基金寄付は元金を用いず運用益を一般管理費とシェアシステムに用い、使途指定寄付はポリオプラスなど目的毎に用います。寄付すると表彰され認証をいいますが、個人に対するものとクラブに対するものがあります。

[毎年、あなたも100ドルを]

シェアシステムは地区財団活動資金(DDF)と国際財団活動資金(WF)に案分されます。

未来の夢計画の補助金の構成は、地区補助金、グローバル補助金とパッケージグラントに分かれ、地区裁量に拠る補助金はロータリーの四つのテストを参考にして決める意向ですので、ご理解下さい。

2012年 11月 **ロータリー財団月間**

ニコニコ 献金	11月8日	38,000円
	累計	332,000円 (11月8日現在)



会長 川田 章博 副会長 岡田 武穂 会場監督理事 上垣香世子 発行：広報委員会  
幹事 大友 広明 副会長 古田 敦則 プログラム委員会理事 河西 智子 委員長 鈴木 享 (副)本田美喜男



例会日/木曜日 12時30分～13時30分 例会場/北海道ホテル 帯広市西7条南19丁目1 (TEL 21-0001)  
創立/1972年2月24日 事務局/帯広経済センタービル4階 TEL 25-7347 (直通) FAX 28-6033

## 河西智子会員 「爽やかな出来事」

出勤時、車で自宅近くのT字路を左折しようとする時、左手に赤いランドセルのおとなしそうな小さな女の子が道路を横断しようと立っていました。横断歩道の無い細い道です。

横断させてあげようと車を止めると、不思議そうな顔をしてこちらを見えています。「渡っていいよ」と手で合図をすると、女の子の一瞬驚いた顔が屈託のない笑顔に変わり、90度の角度でお辞儀をしてから道路を横断して行きました。



その後こちらを振り返り、ランドセルが逆さになってふたが開いてしまい、そんな角度でまたお辞儀、上げた顔はやっぱり笑顔でした。あまりの可愛らしさに暫く見とれてしまいました。

数日後、同じ場所で同じ女の子と同じことがありました。入社前の重たい気分がいきなり爽かになり、心が満たされました。笑顔の力は凄いと感じました。

## 上垣香世子会員 「私とボランティア活動」

私は、ボランティア活動を30年以上続けてきました。でも、積極的に活動してきた訳ではありません。自分の子どもたちに色々な経験をさせたい気持ちからボランティア活動に携わってきましたが、その子どもたちも自立した今、あらためて生きがいをボランティア活動の中に見出そうと思い、5年前、生涯学習ボランティアコースを受講し、インストラクターの資格を取りました。

私のボランティア活動の中で最も印象深く、今でも続けていることにネパールのラマヒ村の識字率を向上させるプロジェクトがあります。初めて、ネパールのラマヒ村を訪れた時は、聞いていたよりも過酷な生活環境に驚愕しました。特に女性たち、子どもたちの教育の機会を奪ってしまう貧困という問題を目の当たりにして、本気でこの状況を改善しなければならないと決意をしました。

そのために、毎年送金をしています。そのお金は、農作業が終わったあとの時間に開かれる識字学級の活動資金や村の学校の隣に建設された図書館の維持費に使われています。

識字率もあがり、字が読めるようになったことで、人身売買の被害から逃れられる女性たちも増えたそうです。契約書の内容を読めるようになったことで、人身売買だと気づき、断ることができるようになったからだというので、感謝の気持ちが書かれた手紙が届くこともあります。

生涯学習ボランティアコースを学習し、今まで、自分の思い込みで接していた態度の欠点も気づかせてもらい、よりよいコミュニケーションが取れるようになってきていると思います。学習を通しての経験をこれからさらに役立てていきたいです。今まで、経験したことのないボランティア活動にも関心を持つようになり、未経験分野にもチャレンジしていこうと思うと、ワクワクし、楽しみが増えます。生きがいとは、こういう気持ちになることを言うのかもしれないと感じています。



平成24年11月8日正次郎にて、前々回の例会に於いてご案内しておりました当クラブ有志による銘酒会発足に向けた準備会が開かれました。

